

世界自然遺産「小笠原」にある小学校

小笠原村立 小笠原小学校

令和3年度 学校要覧



小笠原小学校 校歌

作詞・作曲 藤木資洋

一 すみわたる空の青さに
照り映える二見の海よ
美わしきここ小笠原
われら今友とつどいて
すこやかにからだ鍛えん
あ々小笠原小学校

二 さわやかに風はわたりて
山々は紫紺にけぶる
美わしきここ小笠原
われら今友とつどいて
豊かなる知識学ばん
あ々小笠原小学校

三 さみどりに芝生はもえて
きょうもまた千鳥とびかう
美わしきここ小笠原
われら今友とつどいて
夢多き未来語らん
あ々小笠原小学校



World Natural Heritage Ogasawara Islands
世界自然遺産 小笠原諸島



父島ならではの特色ある教育活動

伝
統

小笠原の伝統・文化

南洋踊りや小笠原太鼓をはじめとした小笠原の伝統・文化を学ぶ授業、アオウミガメをはじめとした固有種や希少種を教材とした授業などの『小笠原学習』を通して、豊かな心を育成します。



4年「小笠原太鼓の学習」



5年「アオウミガメの学習」

学
力

学ぶ意欲・確かな学力

島ならではの感性を生かして、どこにでも通用する学力を身に付けさせるために、小・中学校9年間の系統的な学びを推進し、『わかる』から『できる』授業の実現を目指します。



3～6年「算数少人数学習」
1～6年「一人一台の端末活用」



1～6年「外国語・外国語活動」

教育目標は、知・徳・体の調和

- ・自分を大切にし、思いやりの心をもとう
- ・夢や目標を持ち、たえず学び続けよう
- ・心と体を鍛え、爽やかな感動を生もう



学校の教育目標を達成するための基本方針

確かな学力

全教科・領域において楽しく分かりやすい授業を展開し、確かな学力の向上を図ります。家庭と連携した学習習慣の定着を推進します。

豊かな人間性

基本的な生活習慣や規範意識、協調・共生の意識を身に付けさせ、子供たちの自尊感情を育みます。

健やかな体・安全

運動や健康・安全に関する取組を主体的に行うことができる子供を育てます。家庭・地域と連携して健康的な生活習慣を形成し、子供たちの心身の調和的な発達を図ります。また安全教育に関する指導を徹底します。

地域との相互連携

保護者・地域と学校が相互に連携・協力して子供の成長を支えます。自然災害はもとより、地域と協働して緊急対応の体制を整え、安心・安全な学校づくりを行っていきます。学校の意図や取組を十分に理解していただくための工夫（情報発信等）を行い、理解をしていただいた上で、地域及び家庭の教育力を学校へ導入すること、学校の地域活動への参加を推進します。また、小中連携、保小連携、学校間連携を充実させます。

組織的・計画的・円滑な学校運営

小笠原小学校の実践の更なる充実・浸透に向けて、組織的・効率的に取り組みます。各教職員が自分の職責・役割を自覚し、計画に基づいて学校全体で共通な実践をしていきます。また、新組織体制における報告・連絡・相談の徹底と迅速な判断・対応を行い、学校全体がチームとしてすすめていきます。

信頼される教職員

教育公務員としてのサービスの厳正に努め、職務を通じて住民全体に奉仕するという任務を負っており、子供たちをはじめ保護者や地域の方々の信頼を得ることが大切です。そのために、日常的な研さんに励むと同時に、教師自身が心身ともに健康で、よりよい教育活動を行う力を維持できるようにします。



令和3年度の概要

児童の状況（令和3年5月1日現在）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	ヤシ	計
男子	10	10	7	11	17	14	2	71
女子	12	11	13	13	10	8	0	67
合計	22	21	20	24	27	22	2	138

学校行事予定

月	行 事	月	行 事	月	行 事
4月	着任式・始業式 入学式、保護者会 交通安全教室	8月	夏季水泳指導・学びの場 始業式	12月	地域清掃 終業式
5月	避難訓練(引き渡し訓練) 体力テスト 学校公開	9月	水泳指導終 保護者会 小中高連合運動会	1月	始業式、 書き初め大会 ロードレース大会 学校公開・道徳授業地区公開講座
6月	水泳指導始 小港キャンプ5年 開校記念日（26日）	10月	個人面談 母島移動教室6年 学校公開	2月	新1年生保護者会 小・中学校体験入学 遠足1・2年 遠足3・4年
7月	遠泳大会 南島遠足6年 セーフティ教室 終業式 夏季水泳指導・学びの場	11月	就学時健診 展覧会	3月	6年生を送る会 保護者会 卒業式 修了式・離任式 春季休業日始



小港キャンプ（5年）



南島遠足（6年）



遠泳大会



母島移動教室（6年）



体育発表会



展覧会



遠足（1・2年、3・4年）



卒業式

学校の沿革

昭和43年	6月26日	小笠原諸島の日本復帰に伴いそれまでの米軍関係のラドフォード提督学校の校地、校舎を引継ぎ、東京都小笠原村立小笠原小学校と小笠原中学校を開校、初代校長 有馬 敏行 就任
昭和44年	6月25日	返還一周年記念式典
昭和47年	9月4日	小学校、中学校離別式
昭和47年	12月19日	校旗制定
昭和48年	7月14日	新校舎落成及び記念式典、ラドフォード提督学校地より現在地に移転
昭和50年	6月22日	グラウンド完成及び記念式典
昭和52年	6月12日	体育館落成及び記念式典
昭和53年	6月14日	プール工事完成及びプール開き
昭和53年	6月26日	開校10周年記念式典、校歌制定及び発表会
昭和59年	10月30日	台風22号のため体育倉庫全壊
昭和63年	6月26日	小笠原諸島返還20周年記念式典、パレード全児童参加
昭和63年	11月24日	開校20周年記念式典、第1回父島・母島児童生徒による交歓会
平成元年	10月2日	ミルク給食開始
平成2年	1月14日	第18回ロードレース大会に学校行事として参加
平成2年	4月1日	小学校長配置により小学校初代(通算9代)校長に松島八寿男 就任
平成4年	2月21日	絶滅に瀕する小笠原固有種「ムニンノボタン」の植樹
平成4年	4月1日	2代(通算10代)校長 濱名 啓三 就任
平成5年	11月21日	小笠原諸島発見400年、返還25周年記念式典
平成6年	2月12日	天皇皇后両陛下下行幸啓関連行事に児童参加
平成6年	4月1日	3代(通算11代)校長 藤村 雄二 就任
平成8年	4月1日	4代(通算12代)校長 齋藤 健治 就任
平成10年	4月1日	5代(通算13代)校長 池田 光生 就任
平成10年	6月25日	開校30周年記念式典 小笠原返還30周年記念パレード
平成12年	6月20日	英会話に親しむ授業開始
平成13年	4月1日	6代(通算14代)校長 長島 忠義 就任
平成14年	4月1日	学校週5日制完全実施
平成15年	4月9日	全校一斉で朝読書開始
平成15年	6月2日	外国人講師による全学年の英会話授業開始
平成16年	4月1日	7代(通算15代)校長 金子 和明 就任
平成18年	4月1日	通級指導学級“ヤシの木教室”開設
平成19年	4月1日	8代(通算16代)校長 大松 亮 就任
平成20年	6月26日	開校40周年記念式典
平成20年	7月4日	小笠原諸島返還40周年記念パレード
平成21年	4月1日	9代(通算17代)校長 大瀧 浩之 就任
平成23年	3月11日	東日本大震災による大津波警報発令のため体育館に避難所開設
平成23年	6月8日	小笠原村内水不足のためプール指導中止
平成23年	10月14日	世界自然遺産登録記念式典参加(3～6年)
平成24年	4月1日	10代(通算18代)校長 吉岡 俊幸 就任
平成25年	4月1日	東京都スポーツ教育推進校に指定
平成25年	10月5日	小笠原諸島返還45周年記念パレード
平成26年	4月1日	11代(通算19代)校長 西澤 盛和 就任
平成26年	11月8日	第5回ESD大賞 審査員特別賞受賞
平成28年	4月1日	特別支援学級“ヤシの木学級”開設
平成28年	11月18日	優良PTA文部科学大臣表彰
平成29年	4月13日	オリンピック・パラリンピック教育アワード校表彰
平成30年	4月23日	子供の読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰
平成30年	6月30日	返還50周年記念祝賀パレード・式典
平成31年	4月1日	12代(通算20代)校長 横山 優美 就任
令和元年	6月14日	小笠原村内水不足等のためプール指導延期
令和元年	10月10日	台風19・21号のため校庭体育倉庫半壊等
令和2年	4月15日	新型コロナウイルス感染症予防のため入学式を延期して実施



返還50周年記念祝賀パレード



返還50周年記念式典

ヤシの木教室（特別支援教室）・ヤシの木学級（特別支援学級）について

本校では、特別支援教育校内体制の整備を進め、学校全体として特別支援教育の充実に向けて取り組んでいます。詳細につきましては、特別支援教室要覧、特別支援学級要覧をご覧ください。

ヤシの木教室（特別支援教室・通級指導学級）

通常の学級に在籍する発達障害等（自閉症、情緒障害、注意欠陥多動性症候群、学習障害等）で、通常の学級におおむね参加でき、一部特別な支援を必要とするお子さんを対象としています。

児童一人一人の教育的なニーズをつかみ、充実した学校生活や日常生活が送れるように、より適切な教育を支援します。

ヤシの木学級（特別支援学級・知的障がい学級）

ヤシの木学級では、将来の就労や自立した生活、生活の中での困り感の軽減を念頭におき、幅広い活動を行います。買い物や公共施設利用の学習などがその一例です。

自分らしく生活していくために必要な、自己決定力や自己表現力を育成するために、児童の実態に合わせた独自のカリキュラムで指導を行い、支援します。

小笠原村立 小笠原小学校

〒100-2101 東京都小笠原村父島宇宮之浜道

TEL 04998-2-2012

FAX 04998-2-3055

HP <http://www.ogashou.ogasawara.ed.jp/>

